

2026 年 8 月 31 日

各 位

りそなアセットマネジメント 株式会社

組織改正について

りそなグループのりそなアセットマネジメント(社長 西山 明宏)は、2026 年 9 月 1 日付で以下の通り組織改正を実施します。

近年、資産運用会社には、お客さまの最善の利益の実現に向けて、商品組成から運用、モニタリング、情報提供に至るまで、プロダクトガバナンスを含む管理体制の一層の高度化が求められています。また、お客さまのニーズの多様化・高度化が進む中、質の高い運用サービスを継続的に提供するためには、運用体制の強化に加え、デジタル技術の活用を通じた業務プロセスの効率化・高度化や持続可能な事業運営基盤の構築が重要です。こうした環境変化を踏まえ、当社では、お客さま本位の業務運営をより一層推進するため、組織改編を実施します。

1. プロダクトガバナンス・リスク管理・コンプライアンス管理の一体的な高度化と意思決定の迅速化

リスク管理部とコンプライアンス部を集約し、「PGRC^{注1}推進部」を設置します。これにより、プロダクトガバナンスおよびリスク管理、コンプライアンス管理の実効性向上に向けた施策を一体的かつ機動的に推進する体制を構築し、管理体制の高度化を図るとともに、意思決定の迅速化を推進します。

注1 Product Governance, Risk & Compliance

お客さまに商品やサービスを適正に提供するための統制やリスク管理、法令順守などの枠組み

2. データ管理・運用システム管理・トレーディング・投資信託計画等の一体的な運用による効率化

データ管理、運用システム管理、トレーディング、投資信託計理等の業務や機能を集約し、「運用プラットフォーム部」を設置します。これにより、共通基盤を一体的に整備し、業務の標準化やデジタル化、データ利活用の高度化を通じて、運用業務の効率化と生産性向上を図るとともに、運営基盤を強化します。

3. 顧客サービス機能の強化

投資信託の開示およびレポーティング業務を「クライアントサービス部」および「機関投資家営業部」へ移管します。これにより、顧客接点を有する部署が開示・レポーティング機能を一体的に担う体制を構築し、投資家への情報提供の充実を図るとともに、ファンド組成の迅速化およびサービス提供力の向上を推進します。

4. DX 推進体制の強化

DX 推進および全社 IT インフラの企画・推進機能を「経営企画部」へ移管します。これにより、全社横断的な業務改革を推進する体制を整備するとともに、生成 AI をはじめとする先端技術やデータ活用の高度化を推進します。業務プロセスの効率化と高度化を通じて、より付加価値の高いサービスの提供を目指します。

5. 商品企画・開発力の強化

クオンツ運用機能をプロダクト・商品企画を担う「運用戦略部」へ移管します。これにより、定量分析や市場分析の知見を商品企画・開発に一体的に活用する体制を構築し、お客さまニーズや市場環境の変化への対応力を高めるとともに、商品企画・開発力の強化を図ります。

組織図(新旧対照表)については、別紙をご参照ください。

以 上

りそなアセットマネジメント 組織図 新旧対照表

